

知的障害特別支援学級（〇〇〇組） 自立活動 学習指導案

日 時 令和〇年〇〇月〇〇日（〇）第〇校時

場 所 〇〇組教室

授 業 者 教 諭 〇〇 〇〇 (T1)

〇〇 〇〇 (T2)

補助員 〇〇 〇〇

1 単元名 「人との接し方（上手な断り方）」

2 設定の理由

（1）生徒観

本校は知的障害特別支援学級である〇〇〇組に〇年生〇名、同じく知的障害特別支援学級である〇〇〇組に〇年生〇名、〇年生〇名、自閉症・情緒障害特別支援学級である〇〇〇組に〇年生〇名・〇年生〇名の生徒がそれぞれ在籍している。

本単元を扱う〇〇〇組〇年生のうち〇名は、自分の思いや考えていることを、比較的素直に友達や教員に対して伝えることができたり、優しく接したりすることができる。しかし、その日の体調や気持ちの浮き沈みによって、距離を置いてしまったり、意思表示ができなくなってしまうりする生徒が〇名いる。その他に、学習の定着度が低く、普段の生活でも、具体的な事象の説明を行うことが苦手な生徒が〇名、人懐こく、分け隔てなく意思疎通できるが、相手の状況を考えずに話をしてしまい、大人や先輩に対して丁寧な言葉遣いをすることが苦手な生徒も〇名いる。

また、本学級〇年生のうち〇名の生徒は、〇〇〇学級では比較的自分の意思や思いを相手に伝えることができるが、交流学級では押し黙ってしまう場面が多く見られる。そして本学級〇年生の他〇名の生徒は、上記でも述べたように相手の状況を考えずに話をしてしまい、人間関係のトラブルに発展してしまうこともあった。

（2）単元観

〇〇〇組の〇年生〇名の生徒は、他者の状況を読み取ることや他者に対し自分の意見や思いを伝えること、他者とのコミュニケーションの際の言葉選びに課題があると思われる。そこで、生徒達が学校生活や将来、社会生活を営む際に、他者との良好な関係性を持続しつつ、自分の意思を伝えることができるようにするために、自立活動の内容「3 人間関係の形成」及び「6 コミュニケーション」に関わる本単元を設定した。

本単元では、相手の立場に立ったコミュニケーションを行うための基礎として、まず、自立活動のねらいにあたる「2 心理的な安定」、「3 人間関係の形成」、「6 コミュニケーション」に関わる自分の得意（好き）なことや苦手（嫌い）なことを知ることからはじめ、自己理解、他者理解を深める学習を行う。次に、自他の理解を踏まえた上で、「お願いをする」、「謝る」、「断る」ときに、受け入れられる方法や、受け入れられない方法についての学習を設定する。そして、「人との接し方」として適切な方法を、ロールプレイを通して活用できるようにしていく。このとき、生徒に個別の課題を設定させ、個々の課題に応じて「人との接し方」のスキルを向上できるように促していく。

（3）指導観

指導にあたっては、生徒個々の実態を的確に把握して行う。生徒が授業に見通しを持って取り組むことができるように、本時の導入部分で「相応しい態度や言葉遣いで断る」、「人の気持ちや状況を

気遣って断る」、「断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える」の中から、個別に目標を選択させるようにする。また、課題に取り組むときは、生徒の特性に合わせた指導を行う。例えば、状況や場면을想像することが苦手な生徒が、課題に取り組めるようにするために、教員側でロールプレイを行ったり、図示化したりすることで具体的な場면을想起できるようにする。また、個々が考えた内容を発表する際、生徒同士のロールプレイで行わせることで、段階を追った意思表示ができるよう指導を行う。

3 単元の目標

- (1) ジョハリの窓を利用することで、自己や他者を理解することができる。
- (2) 自己や他者の得意なことや苦手なことを整理することで、「人との接し方（お願いの仕方、謝り方、断り方）で大切なこと」を理解することができる。
- (3) 「人との接し方で大切なこと」を意識し、具体的な場面での人への頼み方を考え、表現し、他者に適切に意思表示できる。

4 指導計画

- | | |
|---|--------------|
| (1) 自己理解、他者理解を行う。 | 1 時間 |
| (2) 「頼み方で大切なこと」を理解する。 | 1 時間 |
| (3) 「頼み方で大切なこと」を意識し、具体的な場面での人への頼み方を考え、表現する。 | 2 時間 |
| (4) 「謝り方で大切なこと」を理解する。 | 1 時間 |
| (5) 「謝り方で大切なこと」を意識し、具体的な場面での人への謝り方を考え、表現する。 | 2 時間 |
| (6) 「断り方で大切なこと」を理解する。 | 1 時間 |
| (7) 「断り方で大切なこと」を意識し、具体的な場面での人への謝り方を考え、表現する。 | 2 時間(2/2 本時) |

5 本時の学習

(1) 生徒の実態

N o.	学年	名前	単元にかかわる実態
1	2	A	学級での生活や学習の中で、TPO に応じた適切な言葉遣いでコミュニケーションをとることができている。しかし、共同学習などの大勢の中では、自信のなさから発言に消極的になってしまう。また、気持ちの浮き沈みが激しく、気持ちが態度に表れてしまい、自分の思いや考えを言葉にすることに消極的になってしまう。
2	2	B	日常的な学校生活の中で、自分から友達に話しかけることができ、適切な言葉遣いでコミュニケーションを行うことができる。しかし、自分や相手の状況や場면을記憶することが苦手であり、それらの具体的な説明を求められたとき、押し黙ってしまうことが多い。

3	2	C	友達や教員と積極的にコミュニケーションを行うことができる。TPO に応じた言葉遣いや、自身の話を優先してしまうことに課題があり、他者とのトラブルに発展してしまうことがあった。大勢の前でも自分の考えや意見を表現し、他者に伝えることができる。
---	---	---	---

(2) 共通目標

- ① 「断り方で大切なこと」を意識し、具体的な場面での人への断り方を考え、表現できる。
【思考力、判断力、表現力等】
- ② ロールプレイを行うことで、自分の考えや意見を、他者へ適切に意思表示することができる。
【学びに向かう力、人間性等】

(3) 個人目標

No.	学年	名前	個人目標
1	2	A	・「断り方で大切なこと」を意識して、自分で断り方を考え、表現することができる。 ・ロールプレイでは、手振り身振りを交え、自信をもって自分の考えを発表することができる。
2	2	B	・場面状況の確認の支援を受けながらも、自分の気持ちや状況を理由とした断り方を、短い文章ながら考え、表現できる。 ・ロールプレイでは、ワークシートに書かれた自分の考えを、読みながらであるが大きな声で発表することができる。
3	2	C	・人の気持ちや状況を気遣った断り方を考え、表現することができる。 ・ロールプレイでは、表情豊かに堂々と自分の考えた断り方を発表することができる。

(4) 展開

時間	学習活動 学習内容	指導上の留意点		
		○生徒の活動 ◎予想される反応 □指導者の主な指示・発語等 ※支援の手立て *評価の観点		
10分	1 挨拶をする。	A	B	C
		☐ 着席を見届け、日直に号令を促す。 ☐ 日直の号令で授業を始める。 ※イスをしまい、大きい声で挨拶をするように声かけをする。		
	2 本時の課題と、授業の流れを確認する。	☐ 場面状況のロールプレイを行い、どのように断れば良いかを問いかけ、本時の課題である『遊びの誘いを断るためにはどうすれば良いだろう?』と今日の『授業の流れ』を提示することで、本時の授業の見通しをもたせる。 ☐ 「今日の授業の流れ」を提示する。 ① 「断り方で大切なこと」は? (前時までの復習及び個々の目標の設定) ② 今日のお誘いを確認しよう。(場面状況の確認) ③ 二度と誘われない断り方をしてみよう。(実践) ④ また誘ってもらえる断り方をしてみよう。(実践) ⑤ 今日の授業のふりかえり ☐ 「課題」や「今日の授業の流れ」に注目し、本時の授業の見通しをもつ。 ※T1、T2による、ロールプレイを行う。ロールプレイは日曜日に遊ぶ誘いを受けたが断りを入れようとする場面を行う。 ※『今日の授業の流れ』を確認する際は、端的に一つ一つ丁寧に行う。		
	3 前時の授業の復習を行い、各個人の目標を設定する。	☐ 前時の授業で行った、「断り方で大切なこと」は何かを問いかけ、断り方で大切なことである『相応しい態度や言葉遣いで断る』、『人の気持ちや状況を気遣って断る』、『断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える』を掲示する。 ☐ 掲示した3つの「断り方で大切なこと」の中で、特に自分が意識して取り組みたいところに、名前マグネットを黒板に貼らせることで、個々の目標を持たせる。 ☐ 前時の人への断り方で大切なことを復習する。 ☐ 本時の各個人の目標を設定する。 ※どの目標かわからない生徒に対しては、前時までの授業で行った自分が苦手と感じることや、友達からみた自分の苦手なことを参考にさせ、目標設定をさせる。 ※目標設定に迷っている生徒に対しては、目標を1つに絞らず、複数の目標を選択しても良いことを伝える。		
		A	B	C
		◎積極的に目標設定ができる。 ◎前時までの授業の内容	◎積極的に目標設定ができる。 ◎前時までの授業の内容	◎別のことが気になってしまい、目標設定をすることになかなか取り

		から、すべての目標を達成できるように設定する。 ◎目標を決め、名前マグネットを黒板に貼る。	から、「断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える。」を目標に設定する。 ※取り組むことを理解していない場合は、T2が丁寧に説明する。	組むことができない。 ◎前時までの授業の内容から、「人の気持ちや状況を気遣って断る。」を目標に設定する。 ※補助員は、取り組むことを一つ一つ端的に説明する。
	4 場面状況を確認する。	□場面状況を黒板に掲示する。 □「場面状況」 あなたは、よしこさんに「日曜日遊ぼうよ」と誘いました。でもよしこさんは断りました。あなたはよしこさんがどのように断ったら、「もう二度と誘いたくないよ」と思いますか。また、「また誘うね」と思いますか。 ○場面状況について音読をする。 ※「場面状況」を提示する際は、挿絵も掲示する。 ※上手に断れるようになるために、断る側の気持ちに立って断り方を考えるように声かけをし、断る人の視点に立って考えられるようにする。		
15分	5 二度と誘われない断り方について、個人で考える。	□二度と誘われない断り方について、「言葉」と「表情、態度」を各個人で考えさせる。 ○二度と誘われない断り方について、「言葉」と「表情、態度」を考え、ワークシートに記入する。 ※考えに行き詰まっている場合は、前時までに行った「断り方で大切なことを知ろう（8時間目）」や「うまく断ろう（9時間目）」で用いたワークシートを参考にさせる。		
		A	B	C
		◎二度と誘われない断り方について、「言葉」と「表情、態度」に着目して自分の力でやり遂げる。	◎何をすれば良いかわからず、固まってしまう。 ◎支援を受けながら、二度と誘われない断り方を考え、ワークシートに記入する。 ※何をすれば良いか困っている場合、T2は取り組むことを丁寧に説明する。	◎別のことが気になってしまい、作業になかなか取り組むことができない。 ◎二度と誘われない断り方を考え、ワークシートに記入する。 ※補助員は作業に集中できる環境を整え、本人がもつ疑問に対して簡潔に答えるようにする。

6 二度と誘われない断り方について、ロールプレイを通じて発表を行う。	□発表者はよしこさん役になって、友達に対してロールプレイを行うよう指示する。 □発表者以外の生徒は、誘う人のロールプレイ、第三者としてロールプレイの見学（以降、神様役）をそれぞれ行うよう指示する。 □ロールプレイの際は、考えた態度を交えながら、自分の記述した意見を相手に言葉で伝えることを指示する。 □誘う人役、神様役には、ロールプレイを見た後で感想を発表してもらうことを伝える。 ○よしこさん役、誘う人役、神様役をローテーションして行わせる。 ◎よしこさん役は、「行かない」、「やだ」、「家族と遊ぶ方が楽しいから行かない」というよしこさんの言葉を発表する。 ◎「無表情で話す」、「嫌な顔をする」などの、よしこさんの態度を発表する。 □誘う人役、神様役に、今後よしこさんを遊びに誘うかどうかを問いかける。またその理由も問いかける。 ○ロールプレイで発表した内容を黒板に板書する。 ※ロールプレイのローテーションは、よしこさん役、誘う人役、神様役を必ず全員が行うようにする。 ※ロールプレイをするとき、「よしこさん」、「誘う人」、「神様」とかかれた名札をかけさせることで、立場を明確にさせる。		
	A	B	C
	◎ロールプレイでは感情を交えて自分の考えをしっかりと相手に伝える。 ◎誘う人役、神様役ではロールプレイを真剣に見て、誘わない理由までしっかり述べる。	◎ロールプレイではワークシートを読みながらであるが、自分の考えをしっかりと相手に伝える。 ◎誘う人役、神様役ではしっかりとした姿勢で傾聴し、「二度と誘わない」ことを述べる。 ※T2は、何をすれば良いかわからず、困っている場合は適宜声かけを行う。	◎ロールプレイでは、感情を交えながら堂々と行う。 ◎誘う人役、神様役では、聞く態度を直されながらも、誘わない理由までしっかり述べる。 ※補助員は友達の意見を聞くときは、姿勢を正して聴くことを促す。
7 二度と誘われない断り方について、全体でまとめを	□黒板にまとめた内容と、「断り方で大切なこと」を比較させる。ロールプレイで発表した内容は、「断り方で大切なこと」ができていないかを問いかけることで、「二度と誘われない断り方」を具体的に確認させる。 ○発表された内容は、「断り方で大切なこと」である、「相応しい態度や言葉遣いで断る」、「人の気持ちや状況を気遣って断る」、「断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える」ができていないことを確認する。		

20 分	8 また誘ってもらえる断り方について、個人で考える。	□また誘ってもらえる断り方について、「言葉」と「表情、態度」を各個人で考えさせる。 ○「また誘ってもらえる断り方について、「言葉」と「表情、態度」を考え、ワークシートに記入する。 ※考えに行き詰まっている場合は、前時までに行った「断り方で大切なことを知ろう（8時間目）」や「うまく断ろう（9時間目）」で用いたワークシートを参考にさせる。		
		A	B	C
		◎断り方について考える際、二度と誘われない断り方や断り方で大切なことを参考にしながら、自分の力でやり遂げる。 *「断り方で大切なこと」を意識して、自分の考えをワークシートに記述できたか。	◎丁寧な言葉遣いで記入することができるが、自分の状況を具体的に書くことに戸惑っている。 ◎T2の支援を受けながら、「日曜日は家族と出かける用事があるので～」といった、断る理由として自分の状況を説明した断り方を考え、ワークシートに記入する。 ※T2は、よしこさんはどのような状況であるかを問いかけたり、前回までのワークシートを参考にさせたりする。 *支援を受けながらも、「断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える」を意識して、考えを書くことができたか。	◎別のことが気になってしまい、作業になかなか取り組むことができない。 ◎「誘ってくれてありがとう。でも～」や「誘ってくれたのに本当にごめんね」といった断り方を考え、ワークシートに記入する。 ※補助員は、作業に集中できる環境を整える。 ※作業が滞っている場合、補助員は、が相手を気遣っているかどうかを問いかけたり、前回までのワークシートを参考にさせたりする。 *「人の気持ちや状況を気遣って断る」を意識して、考えを書くことができたか。

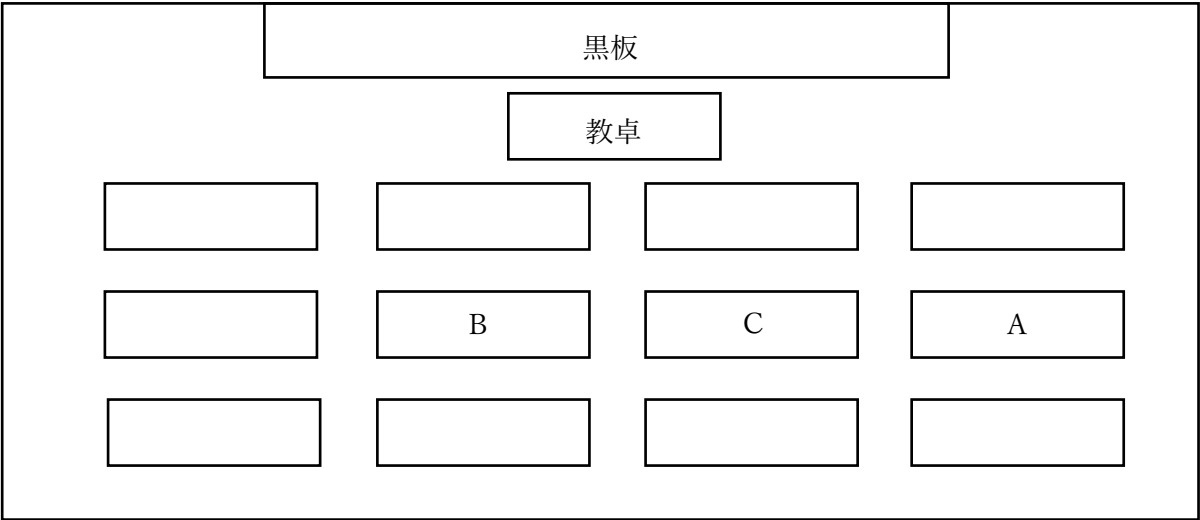
	9 また誘ってもらえる断り方について、ロールプレイを通じて発表を行う。	□発表者はよしこさん役になって、友達に対してロールプレイを行うよう指示する。 □発表者以外の生徒は、誘う人役、神様役をそれぞれ行うよう指示する。 □ロールプレイの際は、考えた態度を交えながら、自分の記述した意見を相手に言葉で伝えることを指示する。 □誘う人役、神様役には、ロールプレイを見た後で感想を発表してもらうことを伝える。 ○よしこさん役、誘う人役、神様役をローテーションして行わせる。 ◎よしこさん役は、「誘ってくれてありがとう。でも家族と出かける用事があるから行けないんだ。断ってごめんね。また誘ってね。」「申し訳ない。部活動があるから行けないんだ。」というよしこさんの言葉を発表する。 ◎「申し訳なさそうに話す。」「真剣な顔をする。」などの、よしこさんの態度を発表する。 □誘う人役、神様役に、今後よしこさんを遊びに誘うかどうかを問いかける。また、その理由も問いかける。 ○ロールプレイで発表した内容を黒板に板書する。 ※ロールプレイのローテーションは、よしこさん役、誘う人役、神様役を必ず全員が行うようにする。 ※ロールプレイをするとき、「よしこさん」、「誘う人」、「神様」とかかれた名札をかけさせることで、立場を明確にさせる。						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="422 1126 766 1176">A</th><th data-bbox="766 1126 1109 1176">B</th><th data-bbox="1109 1126 1441 1176">C</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="422 1176 766 2011"> ◎ロールプレイでは、「断り方で大切なこと」に着目した内容を、感情を交えながら大きな声で発表する。 ◎誘う人役、神様役の際は、発表者の意見をしっかりと聴き、次も誘う理由までしっかりと述べる。 *手振り身振りを交え、自信をもって自分の考えを発表することができたか。 </td><td data-bbox="766 1176 1109 2011"> ◎ロールプレイではワークシートを読みながらであるが、「断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える」に着目した内容をしっかり相手に伝える。 ◎誘う人役、神様役の際には、しっかりとした姿勢で傾聴し、「次も誘う」ことを述べることができる。 ※何をすれば良いかわからず、困っている場合、T2は適宜声かけを行う。 *ロールプレイでは、ワークシートに書かれた </td><td data-bbox="1109 1176 1441 2011"> ◎ロールプレイでは、「人の気持ちや状況を気遣って断る」に着目した内容を、感情を交えながら堂々と発表を行う。 ◎誘う人役、神様役では、聴く態度を直されながらも、次も誘う理由までしっかりと述べる。 ※友達の意見を聴くときに、補助員はしっかりと態度で聴くことを促す。 *ロールプレイでは、表情豊かに堂々と自分の考えた断り方を発表することができたか。 </td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	◎ロールプレイでは、「断り方で大切なこと」に着目した内容を、感情を交えながら大きな声で発表する。 ◎誘う人役、神様役の際は、発表者の意見をしっかりと聴き、次も誘う理由までしっかりと述べる。 *手振り身振りを交え、自信をもって自分の考えを発表することができたか。	◎ロールプレイではワークシートを読みながらであるが、「断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える」に着目した内容をしっかり相手に伝える。 ◎誘う人役、神様役の際には、しっかりとした姿勢で傾聴し、「次も誘う」ことを述べることができる。 ※何をすれば良いかわからず、困っている場合、T2は適宜声かけを行う。 *ロールプレイでは、ワークシートに書かれた	◎ロールプレイでは、「人の気持ちや状況を気遣って断る」に着目した内容を、感情を交えながら堂々と発表を行う。 ◎誘う人役、神様役では、聴く態度を直されながらも、次も誘う理由までしっかりと述べる。 ※友達の意見を聴くときに、補助員はしっかりと態度で聴くことを促す。 *ロールプレイでは、表情豊かに堂々と自分の考えた断り方を発表することができたか。
A	B	C						
◎ロールプレイでは、「断り方で大切なこと」に着目した内容を、感情を交えながら大きな声で発表する。 ◎誘う人役、神様役の際は、発表者の意見をしっかりと聴き、次も誘う理由までしっかりと述べる。 *手振り身振りを交え、自信をもって自分の考えを発表することができたか。	◎ロールプレイではワークシートを読みながらであるが、「断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える」に着目した内容をしっかり相手に伝える。 ◎誘う人役、神様役の際には、しっかりとした姿勢で傾聴し、「次も誘う」ことを述べることができる。 ※何をすれば良いかわからず、困っている場合、T2は適宜声かけを行う。 *ロールプレイでは、ワークシートに書かれた	◎ロールプレイでは、「人の気持ちや状況を気遣って断る」に着目した内容を、感情を交えながら堂々と発表を行う。 ◎誘う人役、神様役では、聴く態度を直されながらも、次も誘う理由までしっかりと述べる。 ※友達の意見を聴くときに、補助員はしっかりと態度で聴くことを促す。 *ロールプレイでは、表情豊かに堂々と自分の考えた断り方を発表することができたか。						

			自分の考えを読みながらであるが、大きな声で発表することができる。	
	10 また誘ってもらえる断り方について、ロールプレイを通じて発表を行う。	☐ 黒板にまとめた内容と、「断り方で大切なこと」を比較させる。ロールプレイで発表した内容は、「断り方で大切なこと」ができているかを問いかけることで、「また誘ってもらえる断り方」を具体的に確認させる。 ☐ 発表された内容は、「断り方で大切なこと」である「相応しい態度や言葉遣いで断る」、「人の気持ちや状況を気遣って断る」、「断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える」ができていることを確認する。		
5分	11 本時の振り返りを行う。	☐ 本時の振り返りを行わせる。 ☐ 本時の振り返りを行い、発表を行う。 ☐ 学校生活につなげられるような声かけを行う。 ※発表者には称賛を行う。		
	12 挨拶をする。	☐ 日直に号令を促す。 ☐ 日直の号令で授業を終わりにする。 ※イスをしまい、大きい声で挨拶をするように声かけをする。		

6 板書計画

課題 かだい 遊びの誘いを断るためにはどうすれば良いだろう？ あそびのきそいことわ	
○今日の授業の流れ ① 「断り方で大切なこと」は？ ② 今日のお誘いを確認しよう。 ③ 相手が怒ってしまう断り方をしてみよう。 ④ 上手な断り方をしてみよう。 ⑤ 今日の授業のふりかえり	【場面状況】 あなたは、よしこさんに「日曜日遊ぼうよ」と誘いました。でもよしこさんは断りました。あなたはよしこさんがどのように断ったら、「もう二度と誘いたくないよ」と思いますか。また、「また誘うね」と思いますか。
ことわ 断り方で大切なこと こじんもくひょう 個人目標 ふさわ ①相応しい態度や言葉遣いで断る。 ひと ②人の気持ちや状況を気遣って断る。 ことわ ③断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える。 名前マグネット	ぼめんじょうきょう 【場面状況】 あなたは、よしこさんに「日曜日遊ぼうよ」と誘いました。でもよしこさんは断りました。あなたはよしこさんがどのように断ったら、「もう二度と誘いたくないよ」と思いますか。また、「また誘うね」と思いますか。 に 二度と誘ってもらえない断り方 また また誘ってもらえる頼み方

7 配置図





じょうず ことわ
上手に断るためにはどうすればよいだろう？



氏名

きょう じゅぎょう もくひょう
◎今日の授業のあなたの目標は？あてはまるものに○をつけてみよう♪

○をつけよう	こじん もくひょう 個人の目標
	ふさわ たいど ことばづか ことわ 相応しい態度や言葉遣いで断る。
	ひと きも じょうきょう きづか ことわ 人の気持ちや状況を気遣って断る。
	ことわ りゆう じぶん きも じょうきょう ぐたいてき つた 断る理由として自分の気持ちや状況を具体的に伝える。

さそ ことわ
◎こう誘われたらどう断る？

あなたは、よしこさんに「日曜日遊ぼうよ」
と誘いました。でもよしこさんは断りました。
あなたはよしこさんがどのように断ったら、
「もう二度と誘いたくないよ」と思いますか。
また、「また誘うね」と思いますか。



	に ど さそ 二度と誘わないよ。	また さそ 誘うね。
よしこさん の言葉は？		
よしこさん の表情や 態度は？		

きょう じゅぎょう ぶん かえ
◎今日の授業を振り返ろう♪